



二俣川小だより

1月号

横浜市立二俣川小学校

令和4年1月7日



あけましておめでとうございます

校長 泉 太郎

1月1日、寒さは厳しいものの横浜は穏やかに晴れ新年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

各ご家庭におかれましてはどのような新年を迎えられたでしょうか。昨年からニュース等でも報道され懸念されていまして、新型コロナウイルスの再度の感染拡大や変異株であるオミクロン株の感染拡大が現実となりつつあります。せっかく前に進み始めた教育活動も、また先の見えない日々で歩みが滞ってしまうのかと思うとついつい暗い気持ちになってしまいます。しかし、日々学校で学習したり友達と遊んだりする子どもたちの姿、二小音楽会の演奏の後の充実した表情、5年生の愛川宿泊体験学習での楽しそうな笑顔などを思うと、ここで教育活動は歩みを止めてはいけなく強く思います。この先も厳しい状況は続くと思いますが、子どもたちと引き続き「あいてますか」にしっかりと取り組みながら教育活動を進めていきたいと思ひます。



12月に実施した5年生の宿泊学習。とても充実した2日間となりました。この歩みが止まらないことを願うばかりです。



地域のよさにあらためて気づく～おみくじから思いを新たに

私自身は年末年始を自宅で過ごしました。年が明けて朝近所を散歩していると、50年以上住んでいながら一度も行ったことのない小さな神社があることに気づき、翌日きちんとお賽銭を持ち改めて訪れてみました。小さな社一つしかなく、三が日も過ぎていたからか誰もいなくひっそりとしていましたが、木々に囲まれ落ち着いたたたずまいの神社でした。そのほかにもやはり一度も行ったことのないお寺が思いのほか大きく立派な仏閣であったり、頻りに車で通っている道沿いに実はお蕎麦屋さんがあったりと、いろいろな発見をすることができ改めて地元を知ることができました。子どもたちも1年生から3年生まで、それぞれ目的をもち地域に出て学習をしています。小さい頃から自分の住む「まち」に親しみ、その良さをすることは、「ふるさと二俣川」に愛着をもつうえでも大切なことだと感じました。大きな観音像で有名な大船観音寺で引いたおみくじは「小吉」でした。おみくじの運勢の順番は、大吉と凶の間では諸説あるようですが、私自身は「小吉」あたりが身の丈に合っていてちょうどよいのかなと思ひます。もちろん大吉が出ればうれしいですが、おみくじによれば「物事堪忍を専にし、慎みを旨とすれば幸せ来たる」ということです。まさに「コロナ禍の厳しい状況は、今までと同様に拡大防止に努めながら着実に教育活動を進めることで乗り切ることができる」ということなのだと思ひを新たにしました。

今年も教職員一体となり子どもたちの指導、支援にあたります。重ねてとなりますが、保護者の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



令和4年もどうぞよろしくお願いいたします

横浜市立二俣川小学校

職員一同